

記入例

棟数が解体予定建築物の棟数と一致していること
(カーポート等も一棟)

分別解体等の計画等

建築物に係る解体工事

建築物の構造		☒ 木造 ☐ 鉄骨鉄筋コンクリート造 ☐ 鉄筋コンクリート造 ☐ 鉄骨造 ☐ コンクリートブロック造 ☐ その他 ()			
建築物に関する調査の結果	建築物の状況	築年数 <u>約50</u> 年、棟数 <u>1</u> 棟 その他 ()	周辺状況及び敷地境界との最短距離を記入		
	周辺状況	周辺にある施設 ☒ 住宅 ☐ 商業施設 ☐ 学校 ☐ 病院 ☐ その他 () 敷地境界との最短距離 約 <u>35</u> m その他 ()	作業場所・搬出経路について、敷地内で不十分なときは措置の内容を記入		
建築物に関する調査の結果及び工事着手前に実施する措置の内容	建築物に関する調査の結果		工事着手前に実施する措置の内容		
	作業場所	作業場所 ☐ 十分 ☒ 不十分 その他 ()	隣地使用の承諾済、道路使用許可済		
	搬出経路	障害物 ☐ 有 () ☒ 無 前面道路の幅員 約 <u>25</u> m 通学路 ☐ 有 ☒ 無 その他 ()	搬出時に交通整理員配備 障害物がある場合や、前面道路幅員が狭い場合に 対策を記入		
	残存物品	☐ 無 ☒ 有 ()	残存物品がある場合は、その措置方法を記入		
【石綿関係の記載】 特定建設資材に付着している場合 → 特定建設資材に付着していない場合 →	特定建設資材への付着物	石綿 ☒ 有 ☐ 無	☒ 吹付け石綿、石綿含有吹付けロックウール等 ☐ 石綿含有断熱材・保温材・耐火被覆材等 ☐ 石綿含有成形板、石綿含有ビニル床タイル、石綿含有スレートボード、石綿含有仕上塗材等 ※石綿「無」とした根拠 ☐ H18.9.1以降に工事着手した建築物等 ☐ 書面調査を併せた目視調査 ☒ 書面調査を併せた目視調査及び分析調査	●石綿事前調査報告 (☒ G ビズ, ☐ 書面) ☒ 報告済み ☐ 報告予定 (注記 着工までに報告が必要な為、必ずどちらかに ☒ 自主施工者に分析結果等の文書を確認させていただく場合があります。	
		その他	☒ 無 ☐ 有 ()	●大防法届出及び 労安法・石綿予防規則に関する届出 ☒ 届出済み ☐ 届出予定 ☐ 不要 大防法は作業開始の2週間前までに届出が必要	
	その他	石綿	☒ 有 ☐ 無	☐ 吹付け石綿、石綿含有吹付けロックウール等 ☐ 石綿含有断熱材・保温材・耐火被覆材等 ☒ 石綿含有成形板、石綿含有ビニル床タイル、石綿含有スレートボード、石綿含有仕上塗材等 ※石綿「無」とした根拠 ☐ H18.9.1以降に工事着手した建築物等 ☐ 書面調査を併せた目視調査 ☐ 書面調査を併せた目視調査及び分析調査	
		フロン	☐ 有 (業務用のエアコン・冷凍冷蔵機器のうちフロン類が使われているもの) ☒ 無		
		その他	☒ 無 ☐ 有 ()		
工程及び解体方法	工 程	作 業 内 容		分別解体等の方法	
	①建築設備・内装材等	建築設備・内装材等の取り外し ☒ 有 ☐ 無		☒ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用 併用の場合の理由 ()	
	②屋根ふき材	屋根ふき材の取り外し ☒ 有 ☐ 無		☒ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用 併用の場合の理由 ()	
	③外装材・上部構造部分	外装材・上部構造部分の取り壊し ☒ 有 ☐ 無		☐ 手作業 ☒ 手作業・機械作業の併用	
	④基礎・基礎ぐい	基礎・基礎ぐいの取り壊し ☒ 有 ☐ 無		☒ 手作業・機械作業の併用	
	⑤その他 (例) 外構等	その他の取り壊し ☐ 有 ☒ 無		☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用	
工事の工程の順序		☒ 上の工程における①→②→③→④の順序 ☐ その他 () その他の場合の理由 ()			
☒ 内装材に木材が含まれる場合		①の工程における木材の分別に支障となる場合は ☒ 可 ☐ 不可 不可の場合の理由 ()			
建築物に用いられた建設資材の量の見込み		<u>4</u> トン			
廃棄物発生量見込み	特定建設資材廃棄物の種類ごとの量の見込み及びその発生が見込まれる建築物の部分	種 類	量の見込み	発生が見込まれる部分 (注)	
		☒ コンクリート塊	<u>2</u> トン	☐ ① ☐ ② ☐ ③ ☒ ④ ☐ ⑤	
		☐ アスファルト・コンクリート塊	トン	☐ ① ☐ ② ☐ ③ ☐ ④ ☐ ⑤	
		☒ 建設発生木材	<u>1</u> トン	☒ ① ☐ ② ☒ ③ ☐ ④ ☐ ⑤	
(注) ①建築設備・内装材等 ②屋根ふき材 ③外装材・上部構造部分 ④基礎・基礎ぐい ⑤その他					
(備考) 予定している再資源化処理施設の名称の記入をお願いします。 コンクリート塊：(名称) <u>●●再生施設</u> アスファルト・コンクリート塊：(名称) _____ 木材：(名称) <u>◆◆再生処理場</u>					

□欄には、該当箇所に「レ」を付すこと。

分別解体等の計画等

使用する特定建設 資材の種類		☐ コンクリート ☒ コンクリート及び鉄から成る建設資材 ☐ アスファルト・コンクリート ☐ 木材		
建築物に関 する調査の 結果	建築物の状況	築年数_____年、棟数_____棟 その他 ()		
	周辺状況	周辺にある施設 ☐ 住宅 ☐ 商業施設 ☐ 学校 ☐ 病院 ☒ その他 (河川) 敷地境界との最短距離 約 10 m その他 ()		
建築物に関 する調査の 結果及び工 事着手前に 実施する措 置の内容	作業場所	作業場所 ☐ 十分 ☒ 不十分 その他 ()	工事着手前に実施する措置の内容 場内に一部解体し作業場を確保する	
	搬出経路	障害物 ☐ 有 () ☒ 無 前面道路の幅員 約 4.5 m 通学路 ☐ 有 ☒ 無 その他 ()		
【石綿関係の 記載】 特定建設資材 に付着してい る場合 → 特定建設資材 に付着してい ない場合 →	特定建設 資材への 付着物 (修繕・模様 替工事のみ)	石綿	☐ 有 ☒ 無 ※石綿「無」とした根拠 ☐ H18.9.1 以降に工事着手した建築物等 ☐ 書面調査を併せた目視調査 ☒ 書面調査を併せた目視調査及び分析調査	●石綿事前調査報告 (☒ G ビズ, ☐ 書面) ☒ 報告済み ☐ 報告予定 ☐ 不要 (注記) 石綿事前調査に係る分析調査等の実 施内容に関し、環境部局より元請業者または 自主施工者に分析結果等の文書を確認させ ていただく場合があります。 ●大防法届出及び 労安法・石綿予防規則に関する届出 ☐ 届出済み ☐ 届出予定 ☒ 不要 届出についても記入 (石綿無しの場合も不要に☒)
		その他	☒ 無 ☐ 有 ()	
	その他 (修繕・模様 替工事のみ)	石綿	☒ 有 ☐ 無 ※石綿「無」とした根拠 ☐ H18.9.1 以降に工事着手した建築物等 ☐ 書面調査を併せた目視調査 ☐ 書面調査を併せた目視調査及び分析調査	
		フロン	☐ 有 (業務用のエアコン・冷凍冷蔵機器のうちフロン類が使われているもの) ☒ 無	
		その他	☒ 無 ☐ 有 ()	
	工 程 ご と の 作 業 内 容	工 程		
① 造成等		造成等の工事 ☒ 有 ☐ 無		
② 基礎・基礎ぐい		基礎・基礎ぐいの工事 ☒ 有 ☐ 無		
③ 上部構造部分・外装		上部構造部分・外装の工事 ☒ 有 ☐ 無		
④ 屋根		屋根の工事 ☒ 有 ☐ 無		
⑤ 建築設備・内装等		建築設備・内装等の工事 ☒ 有 ☐ 無		
⑥その他 ()		その他の工事 ☐ 有 ☒ 無		
廃 棄 物 発 生 見 込 量	特定建設資材廃棄物の種類ご との量の見込み並びに特定建設 資材が使用される建築物の部分及 び特定建設資材廃棄物の発生が 見込まれる建築物の部分	種 類	量の見込み	使用する部分又は発生が見 込まれる部分(注)
		☒ コンクリート塊	2 トン	☒ ① ☒ ② ☐ ③ ☐ ④ ☐ ⑤ ☐ ⑥
		☐ アスファルト・コンクリート塊	トン	☐ ① ☐ ② ☐ ③ ☐ ④ ☐ ⑤ ☐ ⑥
		☒ 建設発生木材	1 トン	☐ ① ☐ ② ☒ ③ ☒ ④ ☒ ⑤ ☐ ⑥
(注) ①造成等 ②基礎 ③上部構造部分・外装 ④屋根 ⑤建築設備・内装等 ⑥その他				
(備考) 予定している再資源化処理施設の名称の記入をお願いします。 コンクリート塊 : (名称) ●●再生施場 アスファルト・コンクリート塊 : (名称) _____ 木材 : (名称) □□グリーンセンター				

□欄には、該当箇所に「レ」を付すこと。

別表 3

記入例

建築物以外のものに係る解体工事又は新築工事等(土木工事等)

分別解体等の計画等

工作物の構造 (解体工事のみ)		☒ 鉄筋コンクリート造 ☐ その他 ()		
工事の種類		☐ 新築工事 ☐ 維持・修繕工事 ☒ 解体工事 ☒ 電気 ☐ 水道 ☐ ガス ☐ 下水道 ☐ 鉄道 ☐ 電話 ☐ その他 ()		
使用する特定建設資材の種類 (新築・維持・修繕工事のみ)		☐ コンクリート ☒ コンクリート及び鉄から成る建設資材 ☐ アスファルト・コンクリート ☐ 木材		
工作物に関する調査の結果	工作物の状況	築年数 30 年 その他 ()		
	周辺状況	周辺にある施設 ☒ 住宅 ☐ 商業施設 ☐ 学校 ☐ 病院 ☐ その他 () 敷地境界との最短距離 約 15 m その他 ()		
工作物に関する調査の結果及び工事着手前に実施する措置の内容	作業場所	作業場所 ☒ 十分 ☐ 不十分 その他 (現道上における工事)	工事着手前に実施する措置の内容 道路占用許可済、道路使用許可済	
	搬出経路	障害物 ☐ 有 () ☒ 無 前面道路の幅員 約 6 m 通学路 ☐ 有 ☒ 無 その他 ()		
【石綿関係の記載】 特定建設資材に付着している場合 → 特定建設資材に付着していない場合 →	特定建設資材への付着物 (解体・維持・修繕工事のみ)	石綿	☐ 有 ☒ 無 ※石綿「無」とした根拠 ☐ H18.9.1以降に工事着手した建築物等 ☐ 書面調査を併せた目視調査 ☒ 書面調査を併せた目視調査及び分析調査	●石綿事前調査報告 (☒ G ビズ, ☐ 書面) ☒ 報告済み ☐ 報告予定 ☐ 不要 (注記) 石綿事前調査に係る分析調査等の実施内容に関し、環境部局より元請業者または自主施工者に分析結果等の文書を確認させていただく場合があります。 ●大防法届出及び 労安法・石綿予防規則に関する届出 ☐ 届出済み ☐ 届出予定 ☒ 不要 届出についても記入 (石綿無しの場合も不要に☒)
		その他	☒ 無 ☐ 有 ()	
	その他 (解体・維持・修繕工事のみ)	石綿	☐ 有 ☒ 無 ※石綿「無」とした根拠 ☐ H18.9.1以降に工事着手した建築物等 ☐ 書面調査を併せた目視調査 ☒ 書面調査を併せた目視調査及び分析調査	
		その他	☒ 無 ☐ 有 ()	
工程ごとの作業内容及び解体方法	工 程		分別解体等の方法 (解体工事のみ)	
	① 仮設		☐ 手作業 ☒ 手作業・機械作業の併用	
	② 土工		☐ 手作業 ☒ 手作業・機械作業の併用	
	③ 基礎		☐ 手作業 ☒ 手作業・機械作業の併用	
	④ 本体構造		☐ 手作業 ☒ 手作業・機械作業の併用	
	⑤ 本体付属品		☐ 手作業 ☒ 手作業・機械作業の併用	
	⑥ その他 (●●工事)		☐ 手作業 ☒ 手作業・機械作業の併用	
工事の工程の順序 (解体工事のみ)		☐ 上の工程における⑤→④→③の順序 ☒ そ の 他 (⑥→⑤→④→③) その他の場合の理由 (●●工事のため)		
工作物に用いられた建設資材の量の見込み (解体工事のみ)		5 トン		
廃棄物発生見込み	特定建設資材廃棄物の種類ごとの量の見込み (全工事) 並びに特定建設資材が使用される工作物の部分 (新築・維持・修繕工事のみ) 及び特定建設資材廃棄物の発生が見込まれる工作物の部分 (維持・修繕・解体工事のみ)	種 類	量の見込み	使用する部分又は発生が見込まれる部分 (注)
		☒ コンクリート塊	2 トン	☐ ① ☒ ② ☒ ③ ☒ ④ ☐ ⑤ ☐ ⑥
		☒ アスファルト・コンクリート塊	1 トン	☐ ① ☒ ② ☒ ③ ☒ ④ ☒ ⑤ ☐ ⑥
		☒ 建設発生木材	1 トン	☒ ① ☐ ② ☐ ③ ☐ ④ ☐ ⑤ ☒ ⑥
(注) ①仮設 ②土工 ③基礎 ④本体構造 ⑤本体付属品 ⑥その他				
(備考) 予定している再資源化処理施設の名称の記入をお願いします。 コンクリート塊: (名称) ●●センター アスファルト・コンクリート塊: (名称) ●●センター 木材: (名称) □□グリーンセンター				

□欄には、該当箇所「レ」を付すこと。